

第七回 酒都で聴く女流義太夫の会

女流義太夫 人間国宝 竹本駒之助を聴く

太夫 竹本駒之助

三味線 鶴澤津賀花

「烏帽子折筭源氏 伏見の里の段」

えぼしおりみばえげんじ

原作：近松門左衛門「源氏烏帽子折」

特別出演 能「烏帽子折」より

謡 寺澤幸祐 (観世流シテ方)

小鼓 久田舜一郎 (大倉流小鼓方)



久田舜一郎



寺澤幸祐



©福田知弘



©福田知弘

かつての芝居小屋の雰囲気漂う空間で、現在男女を超えて最高峰の一人とされる義太夫節の名人の至芸に触れる女流義太夫の会。近松三百回忌を迎える本年、久しく文楽での上演が途絶えている近松原作の稀曲が登場！

2023年7月29日(土)

白鷹緑水苑 2階宮水ホール
14:00開場 14:30開演

■一般 前売り 5,800円 (当日6,200円)

■アカデミー会員 前売り 5,400円 (当日5,800円)

■全席指定(約90席)

■蔵出し限定酒などのワンドリンク付

★お申し込みについては裏面をご覧ください。

お問い合わせ

白鷹緑水苑

TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236

E-mail: rokusuien@hakutaka.jp

URL:https://hakutaka.jp/shop.html

近松門左衛門三百回忌に、近松原作の稀曲を聴く

江戸時代中期に生まれた女流義太夫は、歌舞伎や人形浄瑠璃文楽で演奏される義太夫節に対し、役者や人形を伴わない、語りと三味線のみによる「素浄瑠璃」という形で芸が継承されました。その語りに磨きをかけ、声量の豊かさ、すぐれた人物描写など、現在、男女を超えて最高峰の一人と称されるのが竹本駒之助師です。その至芸にふれる、第七回 酒都で聴く女流義太夫の会で取り上げるのは、今年三百回忌を迎える近松門左衛門原作の「烏帽子折葎源氏 伏見の里の段」です。本曲は近年、人形浄瑠璃文楽での上演が途絶えている稀曲です。

原作の「源氏烏帽子折」は源義経伝説を下敷きに、先行する能「烏帽子折」などの影響を受けて脚色された全五段の時代物で、義経が牛若丸と呼ばれた幼少期から、平家追討に立ち上がる直前までを描きます。外題は、成長した牛若丸が初めて烏帽子を着けて元服し、名を義経と改める三段目の内容にちなむものですが、「伏見の里の段」は、その前段のキリにあたります。

この曲は、駒之助師が四代竹本越路太夫師から継承し大切にされてきた演目です。今日において、本曲の貴重な伝承者といえる駒之助師ですが、今回は、その語りに間近に触れることのできる得難い機会となるでしょう。

またこの度特別出演として、能楽観世流シテ方の寺澤幸祐氏と、大倉流小鼓方の久田舜一郎氏をお招きし、外題の由来をさらに詳しく知るよすがとして、先行する能「烏帽子折」から、牛若丸元服の場面をお聴きいただきます。

「烏帽子折葎源氏 伏見の里の段」あらすじ

平家の追っ手を逃れ、雪の伏見に行き暮れる常磐御前と三人の幼子達。一夜の宿を乞うた家の女房は、源氏の忠臣、藤九郎盛長の妹白妙だった。しかし、白妙の夫、弥兵衛宗清は平家方。白妙は常磐らに早く立ち去るようすすめるが、母子は進退窮まり、軒端に野宿する。宗清はこれに気付くが、「何事も知らぬが仏見ぬが花」と、空矢を放って母子を追いやる。常磐親子を案じてあとをつけてきた藤九郎盛長は、事の次第を見届けて宗清に礼を述べ、源氏再興の兵を集めに東国へ下って行く。

お座席指定について

受付時の混雑をさけるため、全指定席とさせていただきます。座席数僅少のため、左記の点にご留意、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- ＊お申込み受付後、ご入金順に前列中央から、左右両側へ順番にお席を指定させていただきます。
- ＊個別のお座席指定及びお申込み時のお座席確認には、ご対応できませんので、ご了承ください。
- ＊お申込み後、当方よりお席確保の連絡をさせていただきますので、その後にお支払いをお願いいたします。
- ＊お支払い期限（当方よりご連絡させていただいた日から数え、金融機関休業日も含めて二週間以内）を過ぎてもご入金を確認できなかった場合、自動的にキャンセル扱いとなりますのであらかじめご了承ください。
- ＊チケット番号はお座席番号でもありません。

お客様へのお願い・お断り

＊37.5度以上の発熱があるお客様、咳、くしゃみ、喉の痛み等の症状があるお客様はご来場をご遠慮ください。

＊マスク未着用のお客様のご入場はご遠慮いただきます。

＊会場内でのお客様同士の会話はお控えください。

＊当ホールは厚生労働省が推奨する必要換気量を満たす換気装置を備えています。また念のため、空気清浄機を設置し、会場入口扉及び天窓の一部を開放しております。換気音や若干の生活音がいたしますが、ご了承ください。

白鷹緑水苑のイベント講座は、感染症対策を講じた上開催いたしております。詳細はホームページをご覧ください。

蔵出し限定酒	ショップ 美禄市 11:00~19:00
蔵出し一献 日本酒酒房 蔵BAR	12:00~17:00 (土日祝のみ営業)
旧き良き 暮らしの美	暮らしの展示室 11:00~18:30 <input type="checkbox"/> 見学無料
伝承の醸酒 その技法	白鷹集古館 11:00~18:30 <input type="checkbox"/> 見学無料
イベントホール レンタルスペース	宮水ホール 茶室 悦庵
鰻料理 懐石料理	東京 竹葉亭 西宮店 11:30~14:30 (土日祝11:00~15:00) 17:00~21:00 TEL:0798-37-3939



白鷹緑水苑
灘酒文化の発信地
[本物主義] 昔も今も、これからも。

ご予約・お問い合わせ 白鷹緑水苑 (11:00~19:00 1・3水曜定休)
Tel. 0798-39-0235 Fax. 0798-39-0236

前売チケットは白鷹緑水苑にて販売中。申込み用紙にてFAXあるいは郵送で、またはHPよりご予約いただいた後、お申込み受付時(当方よりご連絡させていただいた日)から数えて二週間以内に下記口座へお振込ください。振込確認後にチケットを郵送させていただきます。*銀行営業日、振り込み反映日にご注意ください。

三菱UFJ銀行 西宮支店 普通 4608446 ニシノミヤハツイマデントウ

- *恐れ入りますが、振込手数料はご負担いただきます。 *お振込先が白鷹緑水苑ではございませんので、ご注意ください。
- *前売券発売の場合、当日券の販売は中止とさせていただきます。 *ご購入後のご返金はいたしかねます。
- *公演中止の場合、チケット代金は返金させていただきます。尚、お振込み手数料のご返金はご容赦願っております。

インターネット予約はこちら → <https://hakutaka.jp/shop.html>



〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1
TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236
E-mail: rokusuien@hakutaka.jp



阪神西宮駅南へ徒歩8分

「第七回酒都で聴く女流義太夫の会 竹本駒之助を聴く」FAXお申し込み用紙 Fax. 0798-39-0236

氏名	ふりがな	電話
住所	〒	
メール	(P.Cあるいはスマートフォン)	FAX
公演前売り券 一般 () 枚 アカデミー会員 () 枚		